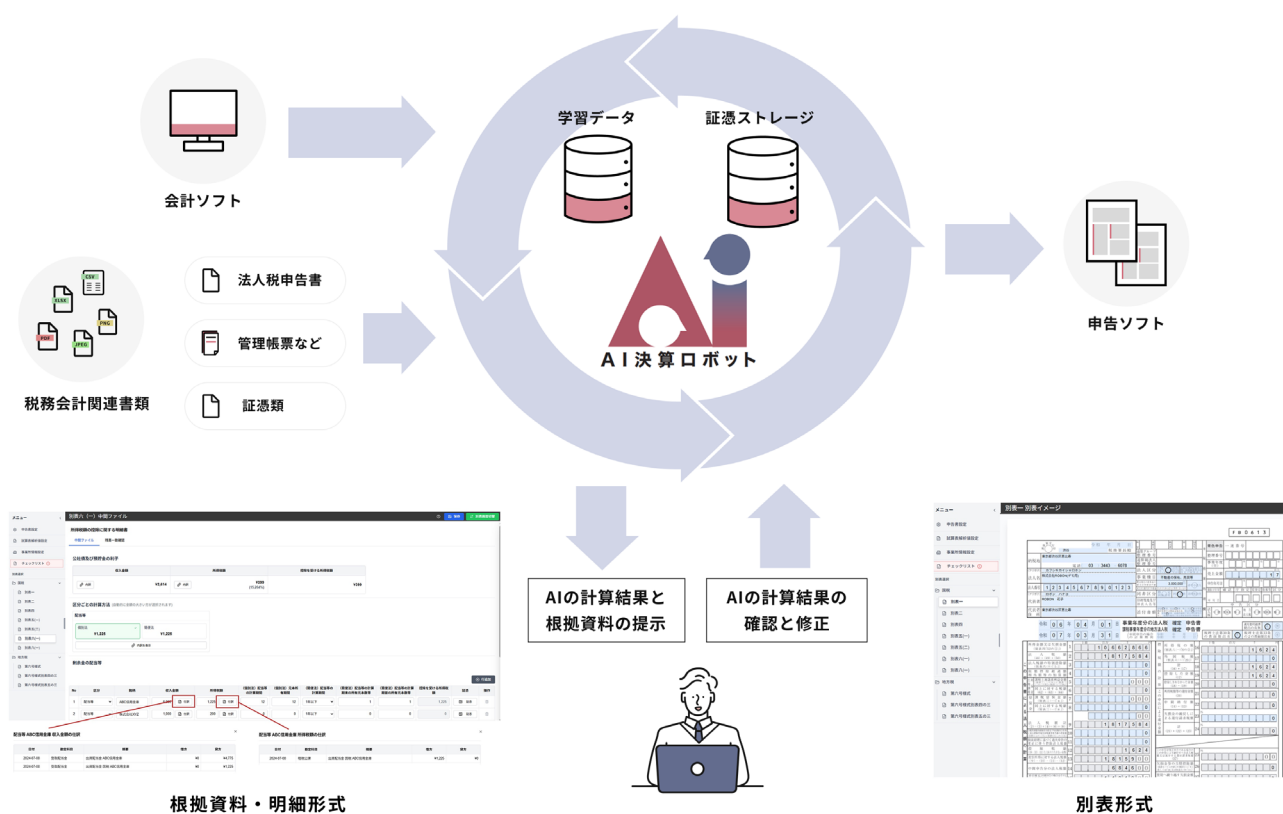




AI全自動決算機、爆誕。

『AI 決算ロボット』は、法人税申告書の作成プロセス全体をAIで自動化。



根拠資料・明細形式

品名	数量	単価	金額	消費税	合計
商品A	100	100	10000	1000	11000
商品B	200	200	40000	4000	44000
商品C	50	50	2500	250	2750
商品D	10	10	1000	100	1100
商品E	5	5	250	25	275
商品F	1	1	100	10	110
商品G	1	1	100	10	110
商品H	1	1	100	10	110
商品I	1	1	100	10	110
商品J	1	1	100	10	110
商品K	1	1	100	10	110
商品L	1	1	100	10	110
商品M	1	1	100	10	110
商品N	1	1	100	10	110
商品O	1	1	100	10	110
商品P	1	1	100	10	110
商品Q	1	1	100	10	110
商品R	1	1	100	10	110
商品S	1	1	100	10	110
商品T	1	1	100	10	110
商品U	1	1	100	10	110
商品V	1	1	100	10	110
商品W	1	1	100	10	110
商品X	1	1	100	10	110
商品Y	1	1	100	10	110
商品Z	1	1	100	10	110

別表形式

品名	数量	単価	金額	消費税	合計
商品A	100	100	10000	1000	11000
商品B	200	200	40000	4000	44000
商品C	50	50	2500	250	2750
商品D	10	10	1000	100	1100
商品E	5	5	250	25	275
商品F	1	1	100	10	110
商品G	1	1	100	10	110
商品H	1	1	100	10	110
商品I	1	1	100	10	110
商品J	1	1	100	10	110
商品K	1	1	100	10	110
商品L	1	1	100	10	110
商品M	1	1	100	10	110
商品N	1	1	100	10	110
商品O	1	1	100	10	110
商品P	1	1	100	10	110
商品Q	1	1	100	10	110
商品R	1	1	100	10	110
商品S	1	1	100	10	110
商品T	1	1	100	10	110
商品U	1	1	100	10	110
商品V	1	1	100	10	110
商品W	1	1	100	10	110
商品X	1	1	100	10	110
商品Y	1	1	100	10	110
商品Z	1	1	100	10	110

AI決算ロボットによる法人税申告書作成プロセス



AI決算ロボットの概要と導入効果

- 税務申告書作成プロセスの自動化
- 業務の標準化・効率化
- 人材不足・採用難対策
- AIによるアシスト
- 監査・調査対応
- システム連携



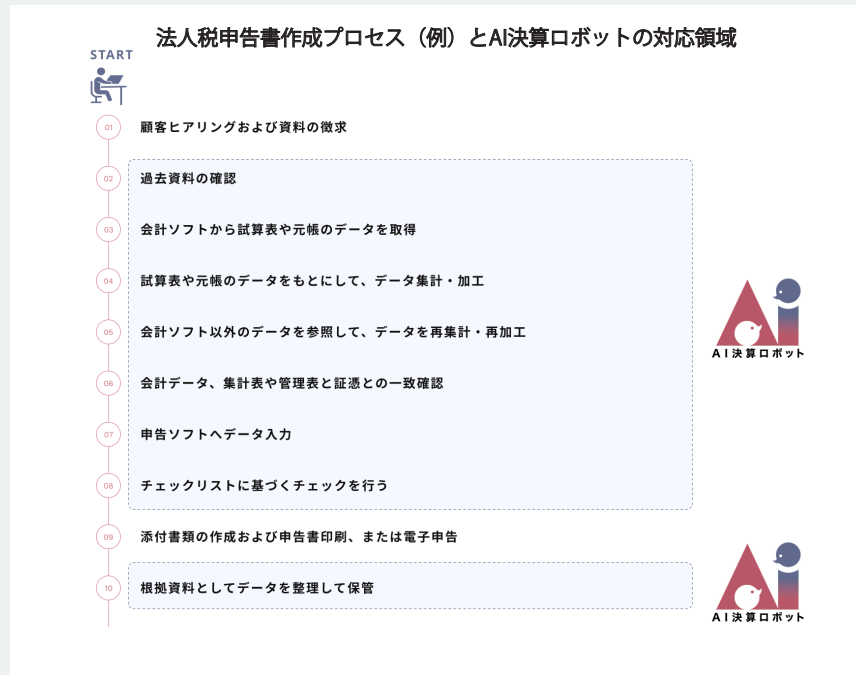
AI 決算ロボットの概要と導入効果

effect

1

税務申告書作成プロセスの自動化

法人税申告書の作成に必要な過去資料の確認、会計システムのデータ集約、データの集計・加工、証憑との一致確認といった一連の業務プロセスをAIで自動化し、大幅な生産性の向上を実現します。



effect

2

業務の標準化・効率化

法人税申告書作成プロセスを標準化



法人税申告書の自動作成により、人手による転記や集計作業が大幅に削減されるため、ヒューマンエラーを削減し、申告書の品質を高めることができます。

法人税申告書の作成プロセスが統一されることで、担当者によるばらつきが低減されます。どの担当者が作業しても同水準の品質を維持できる仕組みが整い、組織全体の品質向上につながります。システム上で修正することで、いつ・誰が修正を行ったかが明確になり、作業プロセスの透明性が向上します。

また、業務プロセスが標準化されることにより、業務の属人性が排除され、根拠資料の整理も一元化されるため、担当者変更時にもスムーズに業務を継続できます。

人材不足・採用難対策

インボイス制度、電子帳簿保存法などの制度改正、クラウド会計の普及によるチェック業務の高度化、税務・経営・労務・補助金など 顧問先からの相談が多様化する中、税理士の業務量は増加し、繁忙期には特に逼迫しています。一方で、人材の獲得、後継者の育成は深刻な課題となっており、業務の生産性向上が急務となっています。

AIによる自動作成中に他の申告書のチェックを並行して行うことで、稼働効率が向上します。自動作成により煩雑なデータ集計や加工が不要となり、定型的なチェック作業など、アシスタントが担当できる業務領域が広がります。

繁忙期においても限られたリソースでより多くの案件を確実に進めることができ、専門人材への依存度が下がり、有資格者・経験者をより高度な判断や付加価値の高いコンサルティング業務に集中させることができます。

AIによるアシスト

AI決算ロボットは、会計ソフトのデータ、税務会計関連書類を取得し、AIが突合・集計を行い、計算結果を根拠資料とともに提示します。

The screenshot displays the 'AI決算ロボット' (AI Tax Settlement Robot) interface. It features a summary table at the top with columns for 'No.', '項目' (Item), '元金額' (Original Amount), '調整後の金額' (Adjusted Amount), '差引' (Difference), and '備考' (Remarks). Below this is a section titled 'AI集計の結果' (AI Consolidation Results) with a warning icon and text. At the bottom, there is a 'チェックリスト' (Checklist) section with a table listing items to be checked, including '給与' (Salary) and '役員報酬' (Director Compensation).

監査・調査対応

AIによる集計結果は『別表形式』で確認できるだけでなく、『根拠資料・明細形式』で申告書の数値の根拠となる資料を確認し、AIの検出事項をふまえてデータを修正することができます。

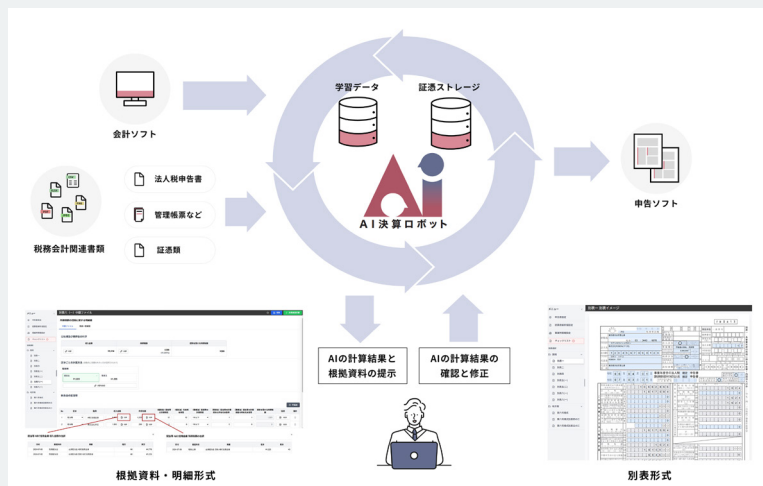
根拠資料・明細形式での確認

別表形式での確認

申告書の数値の根拠となる証憑や仕訳がシステム上で明確に可視化され、同じフォーマットで資料を提示できるため、監査や税務調査への対応力が飛躍的に向上します。

システム連携

AI決算ロボットは、会計ソフトのデータ、税務会計関連書類を取得し、AIが突合・集計を行い、計算結果を根拠資料とともに提示します。AIの計算結果を確認・修正し、申告ソフトと連携することで法人税申告書を作成します。



会計ソフト

『あらゆる会計ソフトとつながる』ことを目指しております。

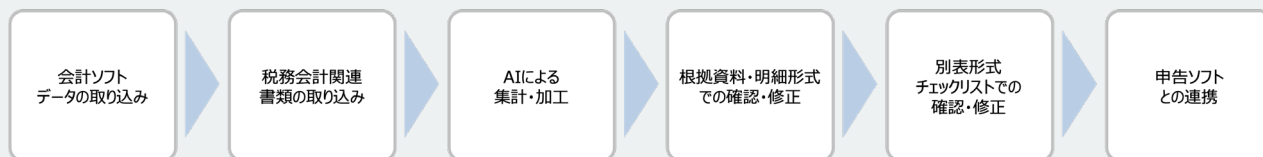
申告ソフト

NTTデータ「達人®シリーズ」をはじめ、今後連携できる申告ソフトを増やしてまいります。

導入サポート付き 先行無料トライアル申込み

『AI決算ロボット』は、法人税申告書の作成に必要な一連の業務プロセスをAIで自動化し、大幅な生産性の向上を実現します。

AI決算ロボットによる法人税申告書作成プロセス



- 導入時の初期設定サポート
- 勘定科目、摘要に関するアドバイス、貴社向けのAIのチューニング
- 税務会計関連書類（前年度申告書・管理帳票など・証憑類）の取り込みサポート
- 貴社でご利用の会計ソフト、申告ソフトとの連携サポート
- 操作方法、データの確認、修正方法のご説明
- 貴社の自動化・効率化の実現度の評価

導入サポートを前提とする無料トライアルのため、多数のお申込みをいただいた場合、対応にお時間を頂戴する場合がございます。何卒ご了承ください。

先行トライアル申込み

AI決算ロボットの「導入サポート付先行 無料トライアル」の申し込みを募集しております。

- ・お申込み方法
QRコードより専用フォームへお進みください。
「AI決算ロボット」で検索も可能です。



「AI決算ロボット」で検索



製品・操作に関するお問い合わせ

製品の操作方法や機能に関するご質問など、製品に関するお問い合わせは、以下の窓口にて承っております。

- ・Webフォームでのお問い合わせ
QRコードより「お問い合わせフォーム」へお進みください。
- ・お電話でのお問い合わせ
電話番号：03-6775-7010
受付時間：10:00～18:00
※土・日・祝日、および弊社指定の休業日を除きます。



「AI決算ロボット」で検索



会社概要

株式会社ROBON



代表取締役社長：中東 源

設立：2019年4月

住所：〒163-0726

東京都新宿区西新宿2-7-1

新宿第一生命ビルディング26階（私書箱 5098）